

2015/16 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



世界へのプレゼントになろう

第 2537 回例会 2016 年 3 月 9 日 (水)

SAA (司会) / 小澤会員 会報担当 / 小澤会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F

例会場 五井グランドホテル

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 我等の生業
- お客様 ございませでした
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



今日の卓話は社会奉仕小委員会の「今後の地域社会貢献基金」についてというテーマです。年当初の活動計画の 1. に会員アンケートをもとに、奉仕活動を行う個人及び団体等と連携し「地域貢献基金」による支援を行う。と公約いたしました。しかし今年度は、公募規約が分かりづらいつか、もっと感略した方が良いとの意見があり、見直しの年になりました。そして今年度も残りわずかになってきました。何度かこの件で委員会が開かれてきたと思います。そろそろ次年度に向けた構想が固まってきたのではないかと思います。三宅小委員長の卓話に期待いたします。

職業奉仕の実践

今日の挨拶は社会奉仕にしようと思い、社会奉仕を検索していると、とても興味のあることが目に付いたので抜粋して紹介いたします。他団体の会員は「ロータリークラブは毎週毎週、なぜ例会を開くのですか。私たちは 1 ヶ月に 2 回例会を開催するだけです。ロータリーは例会で食事をし、話を聞いて、寄付をします。ロータリークラブというのは金持ちの暇人の集まりですね」とよく言います。この言葉に対して、我々は強く反論しなければなりません。ロータリーの例会は食事をするために出席するものではありません。卓話を聞くために出席し、卓話を聞いて職業倫理を学ぶのです。我々は職業人の集まりです。例会に出席することにより、職業人同士の体験談、知識、知恵等を耳にし、職業倫理を互いに学びあうのです。卓話は聞いては忘れ、聞いては忘れしてしまうものなのですが、しかし何度も何度も聞き、そして忘れていく

ちに、次第に自分自身が磨かれ、ロータリー（職業倫理）が身につけていくのです。そのため、ロータリーは毎週例会を開いているのです。

クリスチャンが毎週日曜日に教会に行って神に祈り、心を洗うのと同じように、ロータリーは必ず毎週 1 回の例会に出席し、お互いに心を磨きあうのです。まず、ロータリアン自身の心を磨かなければ、ロータリアン自身の倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することはできません。したがって、ロータリーは毎週例会があるのです。これが社会奉仕だけを目的とする団体や単なる寄付団体や慈善団体なば、毎週例会を開く必要はないでしょう。

しかし、ロータリーは単なる寄付団体や慈善団体ではありません。ロータリアンの心の開発を第一義とする団体です。人作りなのです。社会奉仕だけを目的とする団体ではありません。ロータリーの職業奉仕の実践は、まず倫理を追及する例会出席に始まるのです。すなわち、職業奉仕の実践は、例会に出席することから始まるのです。

「ロータリーの職業奉仕を一言で表現するならば、どのように表現するのですか」と問われたら、私は迷わず「世のため人のために奉仕する心をもって 職業を営むべし」と答えます。この言葉こそが職業奉仕にとって一番大事な言葉であり、基礎であり、決して忘れてはならない言葉であると思っています。

みなさんロータリアンであるならば、毎回の例会に出席し、ロータリーの理念を高めましょう。

◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

当クラブ福原会員の御尊父様が逝去されました。謹んでご案内を申し上げます。

◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆



親睦小委員会 篠田委員長

平成28年3月23日のゴルフコンペおよび袖ヶ浦 RC との合同例会について

山本会員

グローバル補助金について



始関会員

青葉台挨拶運動について

本日のメインプログラム

「今後の地域貢献基金について」

社会奉仕小委員会 三宅委員長



三宅委員長より社会奉仕小委員会の経過報告がありました。当日資料は次ページより掲載してあります。



上條会員

市原 RC のホームページに20周年記念誌「20年のわだち」をアップしてもらいました。伊藤会報委員長ありがとうございました。当クラブの創設当時の情報がたくさん載ってます。お読みください。

角谷会員

当クラブメンバーの赤星工業(株)様より長柄工場をお譲りいただきました。4月1日の操業を目指して、現在工場の設備改装を進めております。全ての人達に感謝、感謝です。

三宅会員

まとまりのない卓話に最後までお付き合いをいただきありがとうございました。

万崎会長・平野幹事

三宅委員長、卓話と資料ありがとうございます。来年につなげていきましょう。

■出席報告 前々回確定 65.71% 本日出席 31 名
欠席 11 名 本日出席率 86.48%

■点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正

社会奉仕小委員会の経過報告

第一回委員会 8月26日(イーサドン)18時30分～

主議題

RJロータリークラブより万崎会長へカンボジアの学校建設資金が必要なのでRJロータリークラブ USD 10,000、市原R,CでUSD 7,000(約100万円)を寄贈して頂けることを願っています。

急ぐとの事でしたので本年度の「地域社会貢献基金」の財源を活用して今年度はお休みして募集要項の見直し等を行い、より応募し易いもので次年度に繋ぐと言う事になりました。

第二回委員会 9月19日(土) 淡粋 18時30分～

議題 別紙の通り

第三回委員会 2月17(水) 淡粋 18時30分～

議題 別紙 議事録の通り

第四回委員会 3月1日(火) イーサドン 12時00分～

応募要項の修正打合せ

青葉台挨拶運動参加の件

2月23日(火) 始関研修リーダーに紹介して頂き、青葉台さわやかネットワーク理事長 西原様 前理事長 中戸様と打合せ。

本日例会終了後、市民生活部長 小出様と面会アポイントを取っています。

席の都合も有り4名となりました。14時30分～打合せです。

第二回社会奉仕委員会議事録

平成27年9月19日(土)18時30分～於いて 淡粋

出席者

万崎会長、始関研修リーダー、角谷会員増強委員長、西村長期計画委員長
山本奉仕プロジェクト委員長、社会奉仕小委員長 三宅

1. 地域社会貢献基金について

本年度は募集を行わないで見直し、検討する。

お金を出すだけではなく公募されたグループの活動に参加する事により
理解と信頼が生れる。

現在募集要項(22P)簡素化して、個人のボランティア活動 グループでも応募しやすく
する為に角谷会員にたたき台をお願いした、今年中の予定。

2. 青葉台挨拶運動参加呼びかけを全会員に行う。

10月ローテーションが決まり次第。

3. 積極的にゴミ拾い等に参加する件

いくつかの提案がありましたがまとまらなかった。

4. ロータリー希望の風奨学金への協力

単年度だけでなく毎年継続する事に意義があります。

金額を抑えて多年度にわたる協力をしたいので理事会に図る。

2015/9/25

以上報告します。

社会奉仕小委員長 三宅 豊

第二回社会奉仕委員会開催のご案内

拝啓 初秋の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第一回社会奉仕委員会 8月26日(水)には多数のご参加頂きありがとうございました。折から協議の上「地域社会貢献基金」は本年度は募集しないで募集要項(22P)を見直し、簡素化して初めての団体、又は個人も応募しやすく出来ないものか始関会員、角谷会員のアドバイスを受けて委員会にて検討致したいと思っております。

その他議題

1. 青葉台さわやかネット、挨拶運動参加呼びかけの方法
1. 使い捨てコンタクトレンズの空ケース回収事業への協力
1. 他の団体とのコミュニケーション図る為に積極的にゴミ拾い等に参加して市原RCの知名度向上に繋げる。
1. ロータリー希望の風奨学金への協力方法

上記を委員会にて協議します。9月連休前で皆様ご多用と存じますがご参加の程お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 平成27年9月19日(土)
開会 18時30分～閉会20時30分
2. 会費 6,500円
3. 場所 淡粹 TEL 0436-62-0200
FAX頂けますようお願い申し上げます。
豊和工業 株式会社 三宅 豊 FAX 0436-23-8808 MAIL info@howakougyou.co.jp

社会奉仕小委員長 三宅 豊
奉仕プロジェクト委員長 山本 順也

第三回社会奉仕委員会議事録

平成28年2月17日(水)18時30分～於いて 淡粋

出席者

万崎会長、始関研修リーダー、奉仕プロジェクト山本委員長、
長期計画委員会西村委員長、長田会員、篠田会員、
社会奉仕小委員長三宅 7名

1.地域社会貢献基金募集要項簡略化について

①検討の結果 P1～P6 迄は特に変更しないで事業の期間を11月～5月を定めていたものを完成月を定めないようにする。

②P9-2提出する事業の概要、P9-3-1)提案内容について(800字以内)

P10…2)提案事業の目的(800字以内) 3)今回の事業において(600字以内)

P11…4)今回の事業を行った後(800字以内)

以上見直して文字数を入れなくて出来るだけ簡潔に記入して下さいに変える。

③上記たたき台を始関研修リーダーにお願いします。(3月末迄)

④青葉台挨拶運動参加の件

近日中に始関さんに紹介して戴き、面会の予定。

平成28年2月18日

以上 報告します。

社会奉仕小委員会

三宅 豊

2016/03/01

市原ロータリークラブ「社会貢献基金運営要綱」改正検討会

経緯、改正目的

今まで運用してきたことを踏まえて改正の必要性を感じる意見があった。
基本的な考えかた・・・決議23～34の精神を基本に、社会のニーズを知り、課題の解決に取り組んでいる個人、団体を人的、金銭的に支援することを目的とする。

改正点

- 1、 NPO、ボランティア等の奉仕団体を生み・育てる
既存団体だけでなく、新しく立ち上げる団体及び個人に対して

- 2、 基金を利用する側の利便性の向上を図る
申請時期の改正及び事業成果期間の延長および（ロータリー年度原則を柔軟に対応）
越年度事業の条件付き承認
申請書書式の簡素化

- 3、 申請者およびクラブが理解しやすいように簡素化する（但し、事業遂行が公正に行われることを担保する）
申請書

- 4、 申請事業の選考に当たり選考基準の見直しを図る

- 5、

社会奉仕とは（決議 23-34）

社会奉仕小委員長 三宅 豊

ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンの全てがその個人生活、事業生活及び社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成する事が出来る。説明では、ロータリー・クラブは地域社会 職業人の集りでありますから、クラブ会員のみならず地域社会に対して実際例を示し、奉仕理論の提唱を行うこと。地域社会のニーズの中から任意の一例を捕えて奉仕プログラムを企画 立案 実施しその事によりましてクラブ内においてはロータリアンの自己改善の糧として、クラブの外に対しては地域社会の人達の公德心を滋養するようにしなければならないこと。奉仕活動は地域社会が本当に必要としているものに基いたものであり、且つクラブ会員の一致した協議を必要とするものでなければならない。

1. 先ず、地域社会のニーズを調べること。
2. 財源はニコニコの財源の限度で企画すべき。
3. クラブが広報宣伝を目的として奉仕活動してはいけない。
4. 出来る限り既存の団体を支援すること。
5. クラブが管理権を持ってはいけない。

以上 小池研修委員長例会卓話より抜粋致しました。
社会奉仕は地域が何を必要としているか3月30日のテーブルディスカッションで皆様の活発な協議を期待しています。